

阪南市下水道事業経営戦略

進捗状況報告書

(令和3年度決算)

目 次

はじめに	．．．．	3
1. 令和3年度の収支状況について（計画値との比較）		
(1) 収益的収支	．．．．	4
(2) 資本的収支	．．．．	5
2. 投資計画の進捗状況について	．．．．	6
3. 経営指標の分析について	．．．．	7
4. 収支計画（計画・実績）の比較	．．．．	16

はじめに

経営戦略は、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画であり、この計画に基づき計画的かつ合理的な経営を行うことにより、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図っていくものです。

阪南市では、令和2年度に令和3年度～令和12年度の10年間を計画期間と定め、経営戦略を策定しました。策定後は、毎年度進捗管理（モニタリング）を行うとともに、3～5年に一度の頻度で点検及び見直し（ローリング）を行うこととしています。

今般、令和3年度の決算を踏まえ、進捗管理を行いましたので、ご報告いたします。

1. 令和3年度の収支状況について（計画値との比較）

（1）収益的収支

（単位：千円）

	R 3 年度計画	R 3 年度決算	増減
1. 営業収益	402,076	410,154	8,078
（1）使用料収入	346,675	352,774	6,099
（2）雨水処理負担金（基準内）	55,341	57,310	1,969
（3）その他営業収益	60	70	10
2. 営業外収益	672,104	633,889	△ 38,215
（1）長期前受金戻入	316,176	317,088	912
（2）他会計補助金（基準内）	281,141	243,295	△ 37,846
（3）他会計補助金（基準外）	74,781	56,836	△ 17,945
（4）その他営業外収益	6	16,670	16,664
経常利益	1,074,180	1,044,043	△ 30,137
1. 営業費用	966,034	945,365	△ 20,669
（1）人件費	57,229	49,675	△ 7,554
（2）経費	56,961	47,047	△ 9,914
光熱水費	2,468	2,171	△ 297
通信運搬費	490	389	△ 101
委託料	42,586	39,622	△ 2,964
修繕費	11,417	4,865	△ 6,552
（3）流域下水道維持管理負担金	215,322	209,129	△ 6,193
（4）減価償却費	628,923	630,779	1,856
（5）その他営業費用	7,599	8,735	1,136
2. 営業外費用	107,235	98,243	△ 8,992
（1）支払利息	100,015	93,790	△ 6,225
（2）その他営業外費用	7,220	4,453	△ 2,767
経常費用	1,073,269	1,043,608	△ 29,661
経常損益	911	435	△ 476
特別利益	0	71	71
特別損失	911	49	△ 862
収益的収支差額	0	457	457

【増減理由】

経常収益については、計画に比べ30,137千円減少しました。これはコロナ禍の影響による使用料収入の増加や前年度の流域下水道維持管理負担金の精算に伴う返還金の発生など増加要因があったものの、支払利息の減少等により一般会計からの繰入金が増加したことが要因です。また、経常費用については29,661千円減少し、減価償却費及びその他営業費用だけが微増となりましたが、それ以外の費用が減少となったことによるものです。

その結果、令和3年度の収益的収支差額は、計画に比べて457千円の純利益が発生しました。

(2) 資本的収支

(単位：千円)

	R 3 年度計画	R 3 年度決算	増減
1. 資本的収入	568,330	509,380	△ 58,950
(1) 企業債	319,200	322,100	2,900
(2) 他会計出資金 (基準内)	66,332	66,312	△ 20
(3) 他会計出資金 (基準外)	152,603	87,688	△ 64,915
(4) 国庫 (府) 補助金	23,000	22,500	△ 500
(5) 受益者負担金	7,195	10,780	3,585
(6) その他	0	0	0
2. 資本的支出	881,077	841,869	△ 39,208
(1) 事業費	119,912	92,716	△ 27,196
(2) 流域下水道建設費負担金	28,000	14,688	△ 13,312
(3) 企業債償還金	733,165	734,465	1,300
(4) その他	0	0	0
資本的収支差額	△ 312,747	△ 332,489	△ 19,742

【増減理由】

資本的収入については、計画に比べ58,950千円減少しました。これは企業債や受益者負担金が微増したものの、建設改良費（事業費＋流域下水道建設費負担金）の減少により一般会計からの繰入金が増加したことが要因です。

また、資本的支出については、39,208千円減少となり、一般会計の厳しい財政状況等を踏まえ、事業費を抑制したこと等によるものです。

2. 投資計画の進捗状況について

(単位：百万円)

事業内容	新規投資（公共下水道） ※工事請負費のみ									
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
計画	81.6	184.8	259.4	202.6	241.8	231.0	215.0	198.4	210.2	152.0
実績	53.3									
実施状況	【R3実績】（目標：R12までの整備面積 33ha） 新設工事 3 本（箱の浦・下出・鳥取中の一部） L=320.1m・1.58ha									

(単位：百万円)

事業内容	更新投資（公共下水道） ※工事請負費のみ									
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
計画	14.6	32.3	45.2	75.6	31.6	31.6	63.2	55.2	42.3	40.0
実績	0.0									
実施状況	【R3実績】（目標：R12までの改築更新管延長 2.4km） 改築更新工事实績なし（実施設計委託のみ）									

(単位：%)

事業内容	普及率（公共下水道）									
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
計画	53.5	54.2	55.0	55.8	56.8	58.0	59.1	60.3	61.5	62.7
実績	53.8									
実施状況	【R3実績】（目標：R12の普及率 62.7%） 整備済人口／行政区域内人口 = 27,944人／51,943人									

(単位：千人)

事業内容	水洗化人口（公共下水道）									
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
計画	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
実績	24.3									
実施状況	【R3実績】（目標：R12の水洗化人口 25千人） 水洗化人口 = 24,254人									

※【参考】

(単位：千人)

事業内容	行政区域内人口									
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
計画	52.0	52.0	51.0	50.0	50.0	49.0	48.0	47.0	47.0	46.0
実績	51.9									
実施状況	【R3実績】（見込：R12の行政区域内人口 46千人） 行政区域内人口 = 51,943人									

3. 経営指標の分析について

阪南市の下水道事業の経営や施設の状況を測定・評価するため、総務省が公表する「経営比較分析表」へ令和3年度決算の実績を反映させ、経年変化や類似団体平均値との比較分析を行いました。

なお、経営指標については、直近4年間をベースとして、3つの視点に基づき、全10項目について報告します。

また、参考数値として、本市下水道事業の現状・課題を把握するため、類似団体比較はありませんが、3つの項目を追記し、分析を行っています。

【経営指標】

視 点	項 目	望ましい方向
ア. 経営の健全性	(1) 経常収支比率 (%)	↑
	(2) 累積欠損金比率 (%)	↓
	(3) 流動比率 (%)	↑
	(4) 企業債残高対事業規模比率 (%)	↓
イ. 経営の効率性	(5) 経費回収率 (%)	↑
	(6) 汚水処理原価 (円/㎡)	↓
	(7) 水洗化率 (%)	↑
ウ. 老朽化の状況	(8) 有形固定資産減価償却率 (%)	↓
	(9) 管渠老朽化率 (%)	↓
	(10) 管渠改善率 (%)	↑
エ. その他 (参考) ※類団比較なし	(11) 使用料単価 (円/㎡)	↑
	(12) 繰入金比率 (%)	↓
	(13) 有収率 (%)	↑

【望ましい方向、評価について】

各経営指標の望ましい方向、評価については、次のとおりです。

(望ましい方向について)

(評価について)

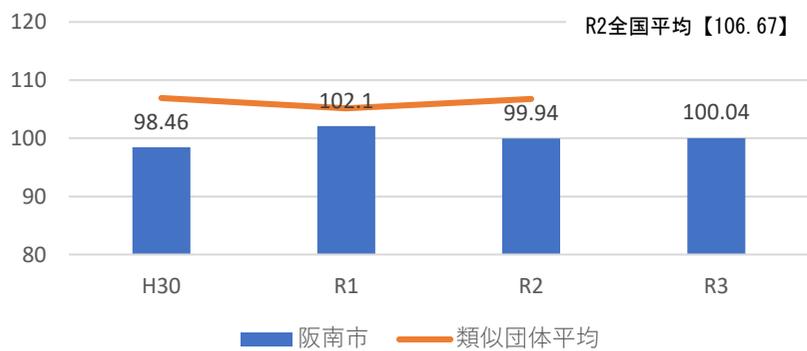
↑ ：増加が望ましい指標	A：良好な状況であり、現状での課題は特に見当たらない。 B：現状では悪化していないが、今後、課題となる可能性がある。 (前年度に比べ改善している場合) C：悪化しているため、改善への取組を進める必要がある。 (前年度に比べ悪化している場合)
↓ ：減少が望ましい指標	

(注意) ただし、各経営指標の比率等の単位未満の表示については、小数点以下第3位で四捨五入しています。

ア. 経営の健全性

経常損益

(1) 経常収支比率 (単位: %) (望ましい方向: ↑)



【指標の説明】

下水道使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどのくらい賄えているかを表す指標です。100%以上の場合は黒字であることを示しています。

【算出式】

$$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	98.46	102.1	99.94	100.04
類似団体平均	106.92	105.14	106.75	-

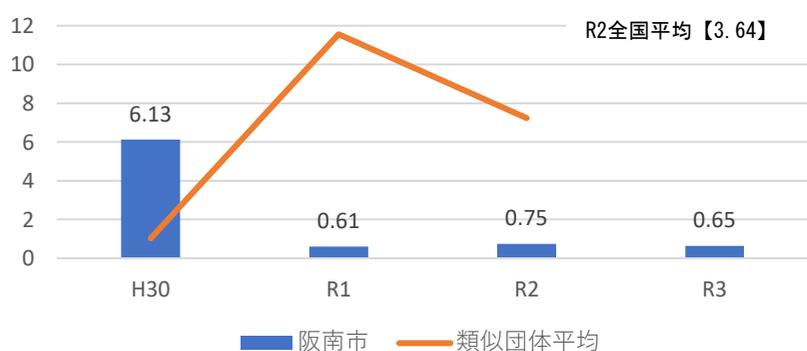
★目標：本経営戦略中、100%以上を維持する

令和3年度は100%を超え黒字となりましたが、依然として一般会計からの繰入金に依存しています。一般会計の財政状況が非常に厳しい中、今後、下水道事業会計として、収入確保や費用削減等を行い、経営の健全化を図ってまいります。

評価
B

累積欠損

(2) 累積欠損金比率 (単位: %) (望ましい方向: ↓)



【指標の説明】

営業収益に対する累積欠損金（累積赤字）の割合を表す指標です。0%の場合は累積赤字がないことを示しています。

【算出式】

$$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} + \text{受託工事収益}} \times 100$$

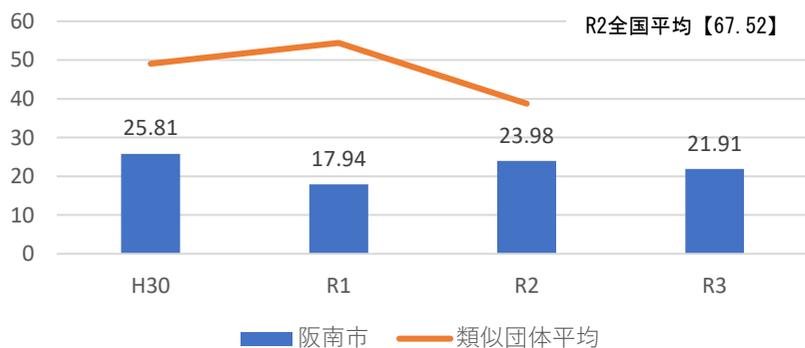
	H30	R1	R2	R3
阪南市	6.13	0.61	0.75	0.65
類似団体平均	1.03	11.56	7.23	-

令和3年度は純利益（黒字）が発生し累積欠損金も減少しましたが、一般会計繰入金に依存しています。累積欠損金を解消するため、引き続き、経営健全化に取り組んでまいります。

評価
B

支払能力

(3) 流動比率 (単位: %) (望ましい方向: ↑)



【指標の説明】

短期的な債務に対する支払い能力を表す指標です。

1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金などがある状況を示す100%以上であることが必要とされています。

【算出式】

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

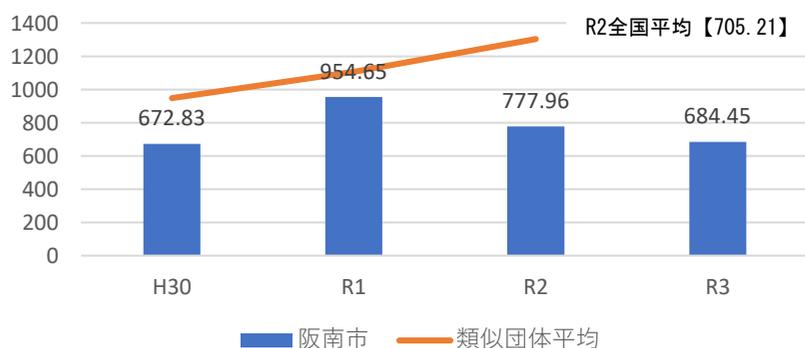
	H30	R1	R2	R3
阪南市	25.81	17.94	23.98	21.91
類似団体平均	49.02	54.41	38.76	-

本市は100%を下回っています。これは、平成26年度からの新会計基準の適用により、1年以内に返済する必要がある企業債（借入金）が流動負債に含まれることになったためですが、現在、一般会計繰入金などにより債務の返済を滞りなく行っています。

評価
C

債務残高

(4) 企業債残高対事業規模比率 (単位: %) (望ましい方向: ↓)



【指標の説明】

下水道使用料や収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。

【算出式】

$$\frac{\text{企業債残高} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$$

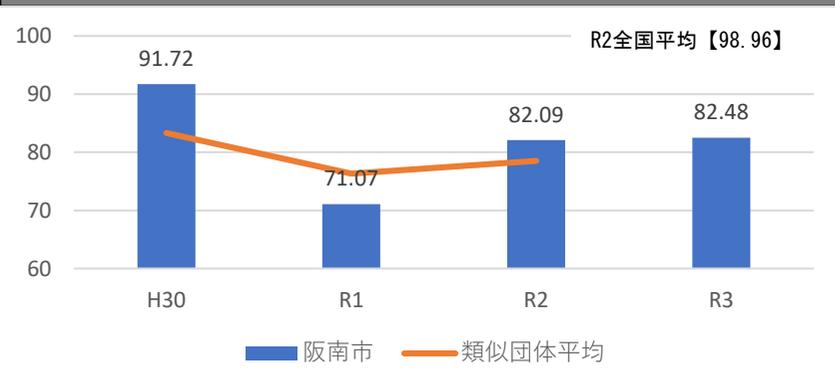
	H30	R1	R2	R3
阪南市	672.83	954.65	777.96	684.45
類似団体平均	948.07	1105.91	1303.55	-

本市では令和元年度をピークに企業債残高が年々減少しています。今後は施設の新設だけでなく、改築更新等も発生してくるため、投資の効率化を図りつつ適切な企業債の借入を行ってまいります。

評価
B

イ. 経営の効率性

(5) 経費回収率 (単位: %) (望ましい方向: ↑)



	H30	R1	R2	R3
阪南市	91.72	71.07	82.09	82.48
類似団体平均	83.31	76.32	78.51	-

料金水準の適切性

【指標の説明】

使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標です。100%以上であれば使用料で回収すべき経費（汚水処理費用）を全て使用料で賄えている状況です。

【算出式】

$$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費用（公費負担分を除く）}} \times 100$$

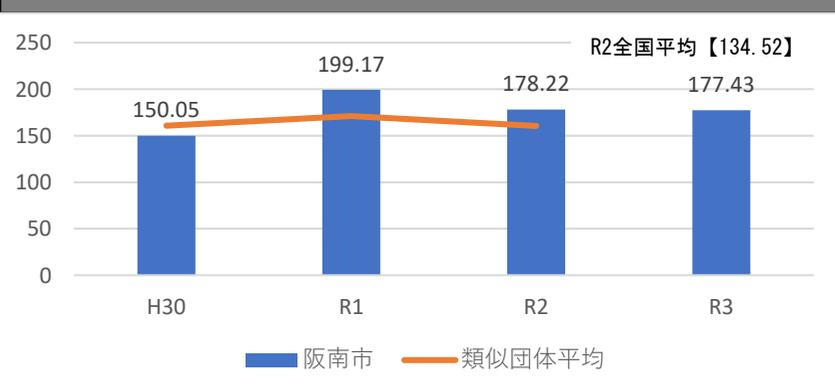
★目標：本経営戦略中、73%以上を維持する

本市の下水道使用料は、令和元年10月に料金改定を行い、20㎡では大阪府内で2番目に高い料金となっています。しかし、下水道の普及率が53.8%と大阪府内で3番目に低く、下水道使用料も少ないため、汚水処理費用の8割程度しか賄えていない状況です。

今後は投資の効率化をはじめ、維持管理費の削減、水洗化率の向上や下水道使用料の適正化など経営の健全化に取り組んでまいります。

評価
B

(6) 汚水処理原価 (単位: 円/㎡) (望ましい方向: ↓)



	H30	R1	R2	R3
阪南市	150.05	199.17	178.22	177.43
類似団体平均	160.62	171.08	160.45	-

費用の効率性

【指標の説明】

有収水量（下水道使用料の対象となる水量）1㎡あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。

【算出式】

$$\frac{\text{汚水処理費用（公費負担分を除く）}}{\text{年間有収水量}}$$

本市は普及率が低く、工場など使用水量の多い事業所も少ないため、有収水量も低く、本市の汚水処理原価は類似団体平均や全国平均と比べてコスト高になっています。

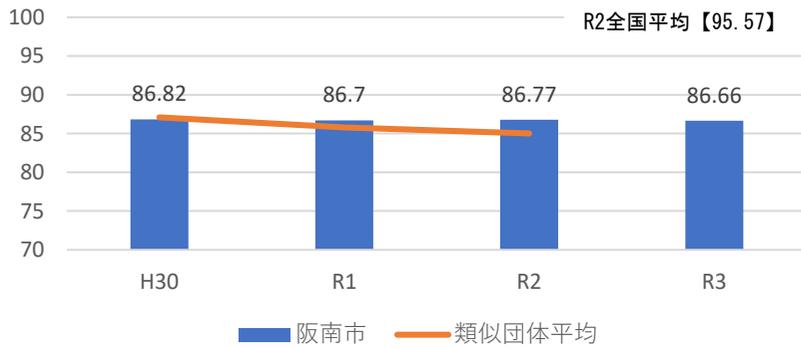
また、人口減少に伴い、有収水量は年々減少傾向にある一方、新設工事や改築更新工事の実施により減価償却費などが増加することが想定され、それに比例して汚水処理原価の上昇も予想されます。

このため、今後は投資の効率化をはじめ、維持管理費の削減、水洗化率の向上による有収水量の増加の取組など経営の健全化に取り組んでまいります。

評価
B

使用料対象の捕捉

(7) 水洗化率 (単位: %) (望ましい方向: ↑)



【指標の説明】

現在処理区域内人口（公共下水道が使用できる区域の人口）のうち、実際に水洗便所等を設置して汚水処理している人口（実際に公共下水道へ接続している人口）の割合を表した指標です。100%となることが理想です。

【算出式】

$$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	86.82	86.7	86.77	86.66
類似団体平均	87.09	85.79	85.01	—

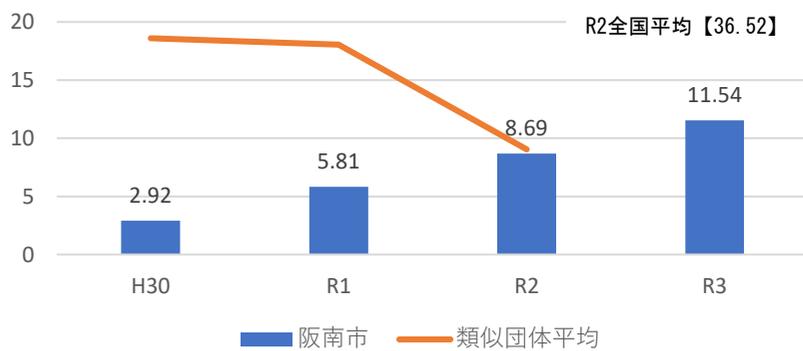
本市では、毎年度、未接続世帯への各戸訪問によるアンケート調査など水洗化向上に努めていますが、本市の人口減少や高齢化の進展に伴い、水洗化人口も年々減少しています。

未接続世帯へのアンケート結果では、下水道への接続工事費や下水道使用料が高いなど経済的理由が多く、次いで既存の設備で十分との理由が挙げられています。特に高齢者世帯や単身世帯では、同理由で下水道への接続を見合わせている場合が多く、今後、人口減少や高齢化の進展等も勘案しながら、効率的・効果的な投資を行うとともに、各戸訪問等による水洗化率の向上に一層取り組んでまいります。

評価
C

ウ. 老朽化の状況

(8) 有形固定資産減価償却率 (単位: %) (望ましい方向: ↓)



施設全体の減価償却費の状況

【指標の説明】

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合いを示しています。

【算出式】

$$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価額 (償却資産)}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	2.92	5.81	8.69	11.54
類似団体平均	18.6	18.04	9.04	-

本市の下水道事業は、平成元年度から公共下水道工事に着手したため、市施工の下水道管渠等は耐用年数の50年に至っていませんが、移管された施設では耐用年数を超える管渠も発生してきていることから、本指標は悪化の傾向にあります。

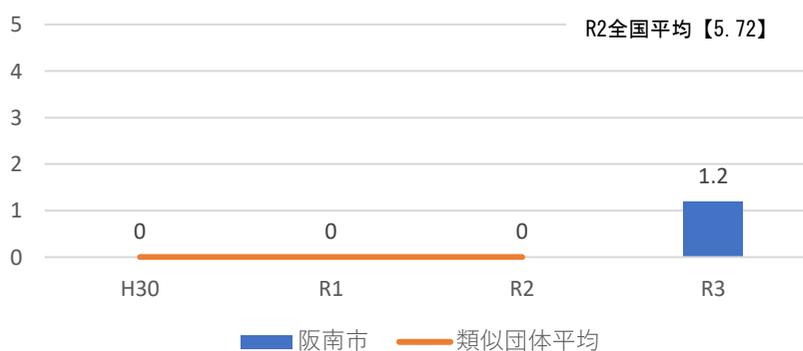
また、本市は普及率が低いことから、新設工事と老朽管等の改築更新工事を並行して実施しなければならず、今後、固定資産は年々増加し減価償却も進んでいくため、償却率が上昇することが見込まれます。

今後は、令和元年度に策定した「ストックマネジメント計画」に基づき、計画的かつ効率的な管更正など老朽化対策に取り組んでまいります。

なお、本市の数値が低いのは、平成30年度に地方公営企業法を適用（企業会計へ移行）した際に、適用前に取得した資産については、適用時の評価額を算出の上、資産として登録し、それまでの減価償却累計額は0円となるため、低い値となっています。

評価
C

(9) 管渠老朽化率 (単位: %) (望ましい方向: ↓)



管渠の経年化の状況

【指標の説明】

法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合いを示しています。

【算出式】

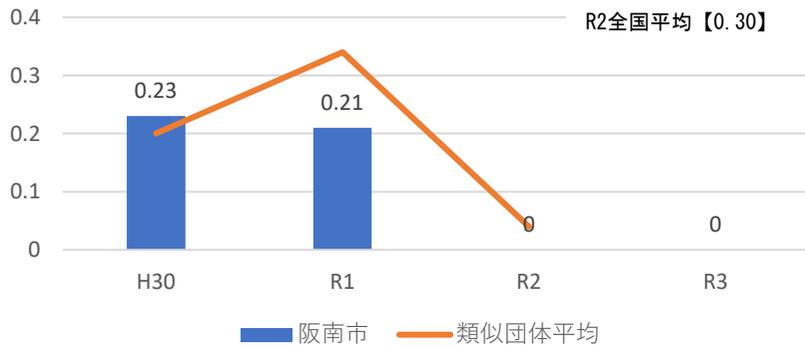
$$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{管渠延長}}$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	0	0	0	1.2
類似団体平均	0	0	0	-

移管された管渠の一部が耐用年数50年を超過したことから、今後は本指標が年々増加すると想定されるため、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な維持修繕・改築更新に取り組んでまいります。

評価
C

(10) 管渠改善率 (単位: %) (望ましい方向: ↑)



管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況

【指標の説明】

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標です。

【算出式】

$$\frac{\text{改築更新管渠延長}}{\text{管渠延長}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	0.23	0.21	0	0
類似団体平均	0.2	0.34	0.04	-

評価
C

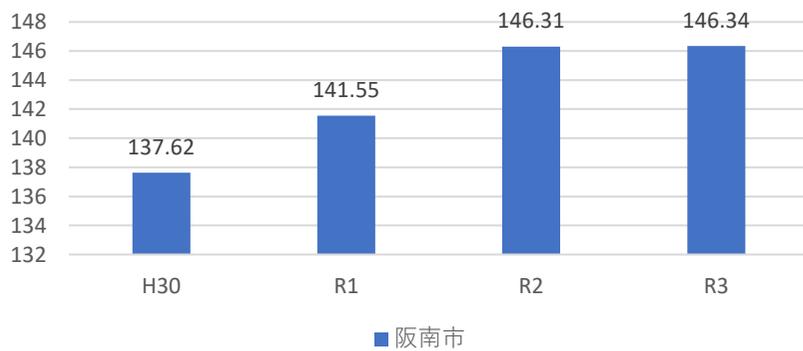
本市の下水道事業は、維持管理費の抑制を図るため、移管された老朽化した施設に対する長寿命化計画を平成26年度に策定し、管渠の改築更新工事を行い、予防保全対策を実施しています。

令和2年度及び令和3年度においては、既存管渠の改築更新工事等を実施しなかったため、0のままとなっていますが、今後は、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な維持修繕・改築更新に取り組んでまいります。

エ. その他

使用料の水準

(11) 使用料単価 (単位:円/㎡) (望ましい方向: ↑)



【指標の説明】

有収水量 1 ㎡ あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す指標です。

(6) 汚水処理原価と同額以上であれば、使用料収入で賄えています。使用料単価の方が低い場合は赤字となり、使用料を見直す必要があります。

【算出式】

$$\frac{\text{下水道使用料収入額}}{\text{年間有収水量}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	137.62	141.55	146.31	146.34

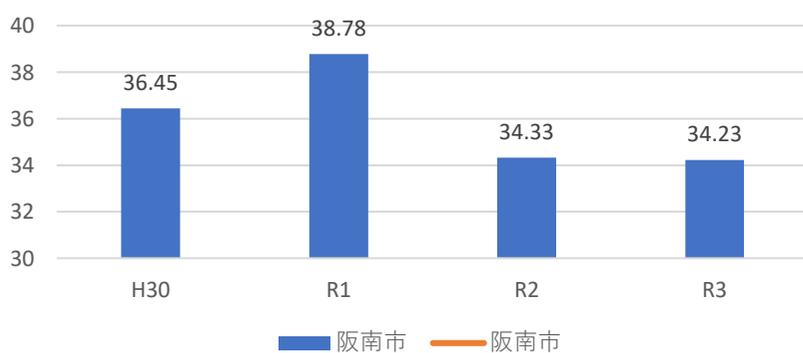
評価 B

本市の下水道使用料は、令和元年10月に料金改定を行い、20㎡では大阪府内で2番目に高い料金となっています。しかし、本市の下水道の普及率が53.8%と低く、高齢化や人口減少の進展、節水機器の普及などにより、有収水量が年々減少傾向にあり、使用料単価は伸び悩んでいる状況です。しかしながら、令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止による在宅勤務などの増加により、有収水量は微増しています。

今後は投資の効率化をはじめ、水洗化率の向上や下水道使用料の適正化など経営の健全化に取り組んでまいります。

一般会計繰入金の依存度

(12) 繰入金比率 (単位:%) (望ましい方向: ↓)



【指標の説明】

総収益に対する繰入金の割合であり、繰入金の依存度を表す指標です。

【算出式】

$$\frac{\text{雨水処理負担金} + \text{一般会計補助金}}{\text{総収益}} \times 100$$

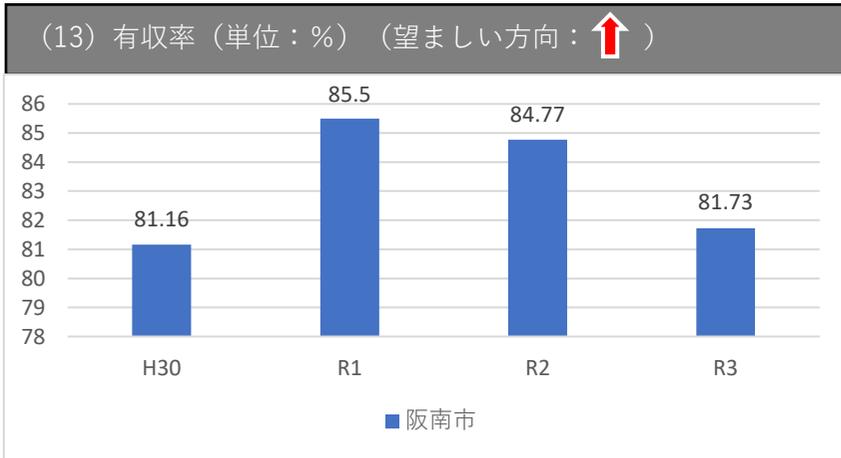
	H30	R1	R2	R3
阪南市	36.45	38.78	34.33	34.23

評価 B

本市は普及率が低く、工場など使用水量の多い事業所も少ないため、有収水量が低く、それに伴い、下水道使用料のみでは汚水処理費を賄うことが出来ず、平成5年度の公共下水道の供用開始以後、一般会計繰入金に依存し続けています。

そのため、雨水処理費用など一般会計が負担すべき下水道事業の経費に対する繰入金（基準内繰入金）以外の繰入金（基準外繰入金）が発生しており、引き続き、少しでも基準外繰入金を減らすよう、下水道使用料の適正化や投資の効率化、維持管理費の削減など経営の健全化に取り組んでまいります。

エ. その他



汚水量の収益化の率

【指標の説明】

処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水量の割合です。割合が高いほど使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、効率的です。

【算出式】

$$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}} \times 100$$

	H30	R1	R2	R3
阪南市	81.16	85.5	84.77	81.73

評価
C

本市の下水道事業は流域関連公共下水道で、本市単独の汚水処理場等の施設を持たず、大阪府が建設・維持管理する汚水処理場等の流域下水道へ本市の公共下水道を接続し、泉南市・岬町などとともに広域で汚水処理を行っています。

このため、有収率の向上については、本市だけの問題ではなく、大阪府や泉南市・岬町などと一緒に取り組むべき課題のため、現在、「南部処理区不明水対策協議会」などで、汚水処理場である南部水みらいセンターの現状報告や不明水対策に関する意見交換などを行っているところです。

収支計画

収益的収支

(税抜き・単位：千円)		R2 (2020)			R3 (2021)			R4 (2022)			R5 (2023)			
		計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	
収益的収支	収入	使用料収入	338,182	356,989	18,807	346,675	352,774	6,099	346,571			347,992		
		他会計繰入金（基準内）	57,378	56,213	△ 1,165	55,341	57,310	1,969	53,301			51,694		
		その他営業収益	60	162	102	60	70	10	60			60		
		営業収益	395,620	413,364	17,744	402,076	410,154	8,078	399,932	0		399,746	0	
		長期前受金戻入	316,301	316,265	△ 36	316,176	317,088	912	316,892			318,289		
		他会計繰入金（基準内）	286,954	238,058	△ 48,896	281,141	246,295	△ 34,846	289,868			298,928		
		他会計繰入金（基準外）	84,046	64,107	△ 19,939	74,781	56,836	△ 17,945	62,797			45,383		
		その他営業外収益	6	11,927	11,921	6	13,670	13,664	6			6		
		営業外収益	687,307	630,357	△ 56,950	672,104	633,889	△ 38,215	669,563	0		662,606	0	
		特別利益	2	51	49	0	71	71	0			0		
	収益的収入合計	1,082,929	1,043,772	△ 39,157	1,074,180	1,044,114	△ 30,066	1,069,495	0		1,062,352	0		
	支出	人件費	56,775	49,554	△ 7,221	57,229	49,855	△ 7,374	57,687			58,149		
		光熱水費	2,408	2,105	△ 303	2,468	2,171	△ 297	2,467			2,477		
		通信運搬費	490	404	△ 86	490	389	△ 101	490			490		
		委託費	45,600	43,643	△ 1,957	42,586	39,622	△ 2,964	39,078			39,180		
		修繕費	11,417	5,347	△ 6,070	11,417	4,865	△ 6,552	11,417			11,417		
		流域下水道維持管理負担金	200,330	192,654	△ 7,676	215,322	209,129	△ 6,193	225,258			226,181		
		減価償却費	629,108	628,185	△ 923	628,923	630,779	1,856	631,906			636,797		
		その他営業費用	7,599	6,832	△ 767	7,599	8,555	956	7,599			7,599		
		営業費用	953,727	928,724	△ 25,003	966,034	945,365	△ 20,669	975,902	0		982,290	0	
支払利息		115,241	111,214	△ 4,027	100,015	93,790	△ 6,225	85,462			71,931			
その他営業外費用	7,220	4,406	△ 2,814	7,220	4,453	△ 2,767	7,220			7,220				
営業外費用	122,461	115,620	△ 6,841	107,235	98,243	△ 8,992	92,682	0		79,151	0			
特別損失	911	120	△ 791	911	49	△ 862	911			911				
収益的支出合計	1,077,099	1,044,464	△ 32,635	1,074,180	1,043,657	△ 30,523	1,069,495	0		1,062,352	0			
収支	収益的収支差額	5,830	△ 692	△ 6,522	0	457	457	0	0	0	0			

収支計画

収益的収支

(税抜き・単位：千円)		R6 (2024)			R7 (2025)			R8 (2026)			R9 (2027)			
		計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	
収益的収支	収入	使用料収入	347,438			348,993			350,843			352,920		
		他会計繰入金（基準内）	50,817			50,126			49,673			49,523		
		その他営業収益	60			60			60			60		
		営業収益	398,315	0		399,179	0		400,576	0		402,503	0	
		長期前受金戻入	320,290			322,165			324,011			325,792		
		他会計繰入金（基準内）	303,311			307,595			308,616			311,103		
		他会計繰入金（基準外）	33,904			30,954			29,066			29,690		
		その他営業外収益	6			6			6			6		
		営業外収益	657,511	0		660,720	0		661,699	0		666,591	0	
		特別利益	0			0			0			0		
	収益的収入合計	1,055,826	0		1,059,899	0		1,062,275	0		1,069,094	0		
	支出	人件費	58,614			59,083			59,555			60,032		
		光熱水費	2,474			2,485			2,498			2,513		
		通信運搬費	490			490			490			490		
		委託費	34,640			37,451			34,883			35,031		
		修繕費	11,417			11,417			11,417			11,417		
		流域下水道維持管理負担金	225,821			227,629			230,431			234,187		
		減価償却費	643,844			650,315			657,272			664,016		
		その他営業費用	7,599			7,599			7,599			7,599		
		営業費用	984,899	0		996,469	0		1,004,145	0		1,015,285	0	
支払利息		62,796			55,299			49,999			45,678			
その他営業外費用		7,220			7,220			7,220			7,220			
営業外費用		70,016	0		62,519	0		57,219	0		52,898	0		
特別損失		911			911			911			911			
収益的支出合計	1,055,826	0		1,059,899	0		1,062,275	0		1,069,094	0			
収支	収益的収支差額	0	0		0	0		0	0		0	0		

収支計画

収益的収支

(税抜き・単位：千円)		R10 (2028)			R11 (2029)			R12 (2030)			
		計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	
収益的収支	収入	使用料収入	353,536			354,983			356,300		
		他会計繰入金（基準内）	49,522			49,400			48,926		
		その他営業収益	60			60			60		
		営業収益	403,118	0		404,443	0		405,286	0	
		長期前受金戻入	327,627			329,201			330,544		
		他会計繰入金（基準内）	327,673			333,484			339,867		
		他会計繰入金（基準外）	21,119			20,797			20,004		
		その他営業外収益	6			6			6		
		営業外収益	676,425	0		683,488	0		690,421	0	
		特別利益	0			0			0		
		収益的収入合計	1,079,543	0		1,087,931	0		1,095,707	0	
	支出	人件費	60,512			60,996			61,484		
		光熱水費	2,517			2,528			2,537		
		通信運搬費	490			490			490		
		委託費	35,075			35,178			35,272		
		修繕費	11,417			11,417			11,417		
		流域下水道維持管理負担金	237,786			242,746			247,633		
		減価償却費	670,874			676,754			681,721		
		その他営業費用	7,599			7,599			7,599		
		営業費用	1,026,270	0		1,037,708	0		1,048,153	0	
		支払利息	45,142			42,092			39,423		
その他営業外費用		7,220			7,220			7,220			
営業外費用		52,362	0		49,312	0		46,643	0		
特別損失		911			911			911			
収益的支出合計	1,079,543	0		1,087,931	0		1,095,707	0			
収支	収益的収支差額	0	0		0	0		0	0		

収支計画

資本的収支

(税込み・単位：千円)			R2 (2020)			R3 (2021)			R4 (2022)			R5 (2023)		
			計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額
資本的 収支	収入	企業債	423,100	406,100	△ 17,000	319,200	322,100	2,900	231,000			258,000		
		他会計繰入金（基準内）	69,570	69,586	16	66,332	66,472	140	54,219			37,348		
		他会計繰入金（基準外）	124,630	144,614	19,984	152,603	87,528	△ 65,075	144,898			182,869		
		国庫（県）補助金	34,800	39,800	5,000	23,000	22,500	△ 500	88,000			99,000		
		受益者負担金	6,800	8,472	1,672	7,195	10,780	3,585	14,459			19,720		
		その他	0	0	0	0	0	0	0			0		
		資本的収入合計	658,900	668,572	9,672	568,330	509,380	△ 58,950	532,576	0		596,937	0	
	支出	事業費	140,371	126,979	△ 13,392	119,912	92,716	△ 27,196	240,991			328,670		
		流域下水道建設費負担金	34,199	29,557	△ 4,642	28,000	14,688	△ 13,312	13,000			25,000		
		企業債償還金	806,123	806,123	0	733,165	734,465	1,300	593,599			561,775		
		その他	0	0	0	0	0	0	0			0		
		資本的支出合計	980,693	962,659	△ 18,034	881,077	841,869	△ 39,208	847,590	0		915,445	0	
	収支	資本的収支差額	△ 321,793	△ 294,087	27,706	△ 312,747	△ 332,489	△ 19,742	△ 315,014	0		△ 318,508	0	

収支計画

資本的収支

(税込み・単位：千円)			R6 (2024)			R7 (2025)			R8 (2026)			R9 (2027)		
			計画	実績	差額									
資本的 収支	収入	企業債	180,000			186,700			181,700			353,200		
		他会計繰入金（基準内）	25,884			22,313			22,225			20,952		
		他会計繰入金（基準外）	186,717			167,666			132,214			92,546		
		国庫（県）補助金	78,000			74,458			71,804			75,751		
		受益者負担金	18,147			17,870			17,233			18,180		
		その他	0			0			0			0		
		資本的収入合計	488,748	0		469,007	0		425,176	0		560,629	0	
	支出	事業費	302,451			297,833			287,217			303,002		
		流域下水道建設費負担金	19,000			45,000			45,000			45,000		
		企業債償還金	490,851			454,324			426,220			550,851		
		その他	0			0			0			0		
		資本的支出合計	812,302	0		797,157	0		758,437	0		898,853	0	
	収支	資本的収支差額	△ 323,554	0		△ 328,150	0		△ 333,261	0		△ 338,224	0	

収支計画

資本的収支

(税込み・単位：千円)		R10 (2028)			R11 (2029)			R12 (2030)			
		計画	実績	差額	計画	実績	差額	計画	実績	差額	
資本的収支	収入	企業債	177,600			177,200			148,400		
		他会計繰入金（基準内）	12,366			12,006			11,181		
		他会計繰入金（基準外）	64,552			45,289			12,309		
		国庫（県）補助金	69,647			69,419			54,342		
		受益者負担金	16,715			16,661			13,042		
		その他	0			0			0		
		資本的収入合計	340,880	0		320,575	0		239,274	0	
	支出	事業費	278,589			277,677			217,367		
		流域下水道建設費負担金	45,000			45,000			45,000		
		企業債償還金	360,538			345,451			328,084		
		その他	0			0			0		
		資本的支出合計	684,127	0		668,128	0		590,451	0	
	収支	資本的収支差額	△ 343,247	0		△ 347,553	0		△ 351,177	0	